



トキめき新潟国体

平成21年開催

トキはなて 君の力を 大空へ

第64回国民体育大会 No.11

バスケットボール会場の整備・改修をしています

国体開催まで、4月10日で残り900日となりました。国体のバスケットボール競技会場の整備・改修も進めています。

20年度に開催されるバスケットボール競技リハーサル大会(第39回女子全日本教員バスケットボール選手権大会)が、平成20年8月9日(土)～8月12日(火)に両津総合体育館・両津小学校体育館で開催されます。両津総合体育館では雨漏り防止の屋根改修工事、両津小学校体育館では照明増設工事、バスケットボード取替え工事を終え、大会の受入準備を進めています。19年度は、総合体育館のバスケットボードを取り替え、今年も国体開催記念事業として新潟県を含む4県の国体成年男子チームを迎えて、7月に強化試合を開催する予定です。



完成後の両津小学校体育館

64年新潟国体ポスター発見



漕艇・ヨットのポスター

3月10日に『お宿花月』で両津地区のイベント「両津おひなさま・お宝めぐり」の準備で展示するため古いたんすの中を整理していたところ、何枚もの丹前の下に敷物として、第19回国民体育大会春季大会漕艇・ヨットのポスターが出てきました。漕艇のポスターは折り目があるものの色落ちもせずきれいな状態で、ヨットのポスターは残念ながら2分されていますがこれもきれいな状態で発見され、ホテルのロビーに展示されました。

これを見た当時の国体出場選手が、貴重な資料

やメダル・ユニフォームを持ち寄り、当時を振り返り思い出話に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごしました。地元選手が大活躍した大会だったそうです。

2年後の今大会でも、地元出身選手がいろいろな種目で活躍することを期待します。そのためにも、市民の多くの皆さんから花いっぱい運動、歓迎装飾等多くの市民ボランティア等の応援・ご協力をよろしくお願いいたします。



賞状・メダルなど貴重な資料が集まりました

4月から国体推進室は、市役所本庁企画財政部企画振興課国体推進室となりました。電話・FAX番号も変わりましたので、お知らせします。



当時の漕艇・ヨットの選手と関係者

市役所 企画振興課 国体推進室 ☎63 4152 FAX63 5125



生涯学習だより

あのまちこのまち

今回は赤泊事務所・羽茂事務所です

第28回 赤泊地区 芸能発表会



3月11日、赤泊総合文化会館で赤泊地区芸能発表会が開催され、17団体150人の方々が日頃の練習の成果をそれぞれ見事に、楽しく発表しました。

開演の1時間以上も前から、いい場所を確保しようと大勢の観客が詰めかけ、次から次へと繰り出される華やかな踊り・歌など、盛りだくさんのプログラムに、会場は拍手喝采で沸きました。

「生涯、現役をモットーに、日々仲間と一緒に体操のつもりでがんばっています」「おばあちゃんと一人で踊ってみたいと思っていました。おばあちゃん、私の方見ないで、ちゃんと前を見て踊ってね」「外国人妻のサークルで、日本語の勉強、料理の実習をしている会です。今日は踊ります。」などと、出演者は会

の紹介をしながら、家族愛・仲間愛を日々喜び、楽しんでいる姿そのままに演じた、すばらしい発表会でした

羽茂自然学園 修園式

3月22日、カルトピアセンター1素浜長期山村留学施設で、第21回羽茂自然学園の修園式が行われました。

今年の修園生は5人(中学生2人、小学生3人)。一年間親元を離れ、海と山に囲まれながら様々な体験をし、共同生活をしました。5人の修園生のうち、2人は佐渡を「第2のふるさと」として海を渡ります。3人は第22期羽茂自然学園生として、さらに一年間頑張ります。

また、一年間子供たちと寝食を共にし、指導にあたった指導員のうち1人は第22期指導員として、1人は佐渡での貴重な経験に、新たな夢に向かって佐渡を離れます。
旅立つ者、見送る者様々な思いが交錯する修園式でした。



色鮮やかな花で美しい島に・・・



3月22日、「佐渡・花の島プロジェクト」では、花による美しい島づくりを目指し、約70個のプランターにパンジーの花を植えました。

花いっぱいプランターは市役所本庁周辺、佐渡地域振興局に置かれ、市内を美しく彩ります。

植え付けに参加した方は「美しい花で心を癒し、豊かな気持ちになってほしい」と、作業を行いました。



雨の中の植え付け作業

多文化共生社会の実現を目指して

市役所 企画振興課

佐渡の在住外国人の日本語支援を目的とした交流会が、佐渡国際交流ネットワーク協議会主催により、2月18日、佐渡中央会館で開催されました。

佐渡に住むブラジル、フィリピン、中国などの外国籍住民と、佐渡の国際交流ボランティア団体や個人等の約100名が参加しました。参加者は日本語による自己紹介やビンゴゲームを通じて、参加者同士の親睦を深めました。また、主催者は外国籍住民参加者を対象とした日本語支援についてのアンケート調査を行いました。その結果をもとに、当協議会は日本語教室等の事業を今後展開していくことにしています。

お互いの文化を尊重し合い、誰もが仲良く暮らせる社会の実現が期待されます。

